

概況

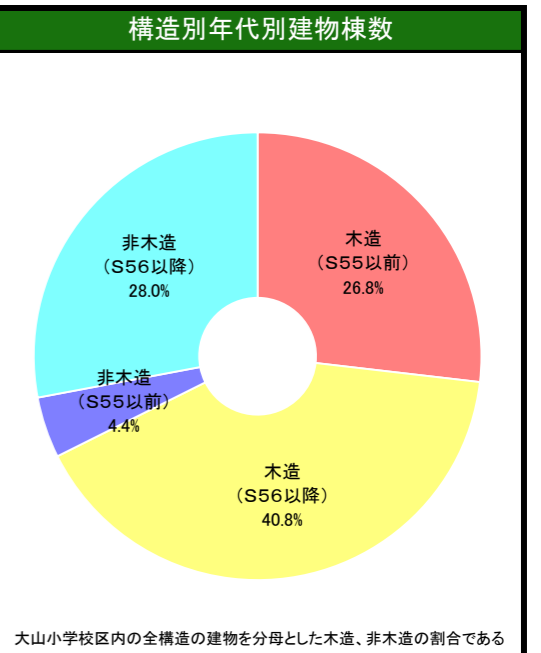
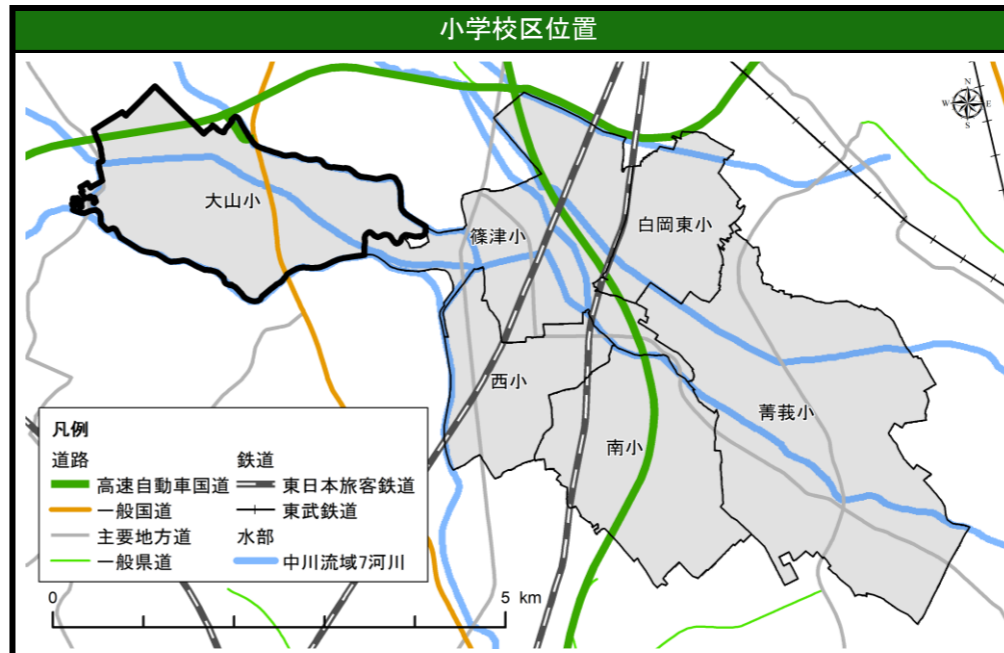
【地勢】
市の西部に位置し、面積4.70km²の地域である。隼人堀川、元荒川が東西に流れている。

【地形】
地区南部、中央部、北部にローム台地が分布している。河川付近は後背湿地・デルタが分布している。

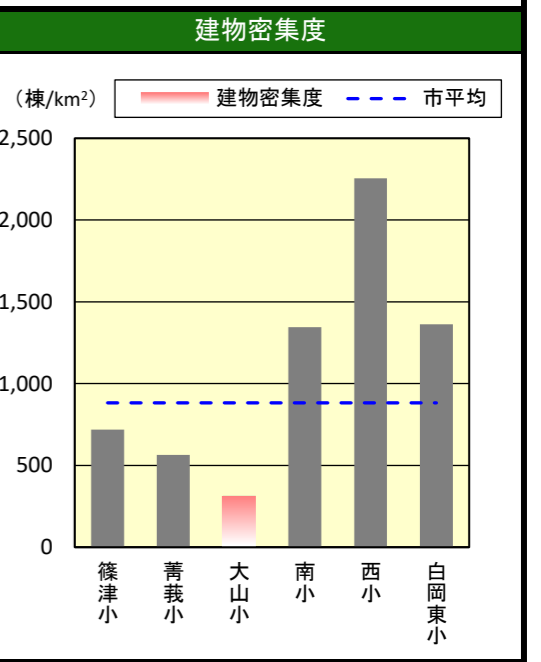
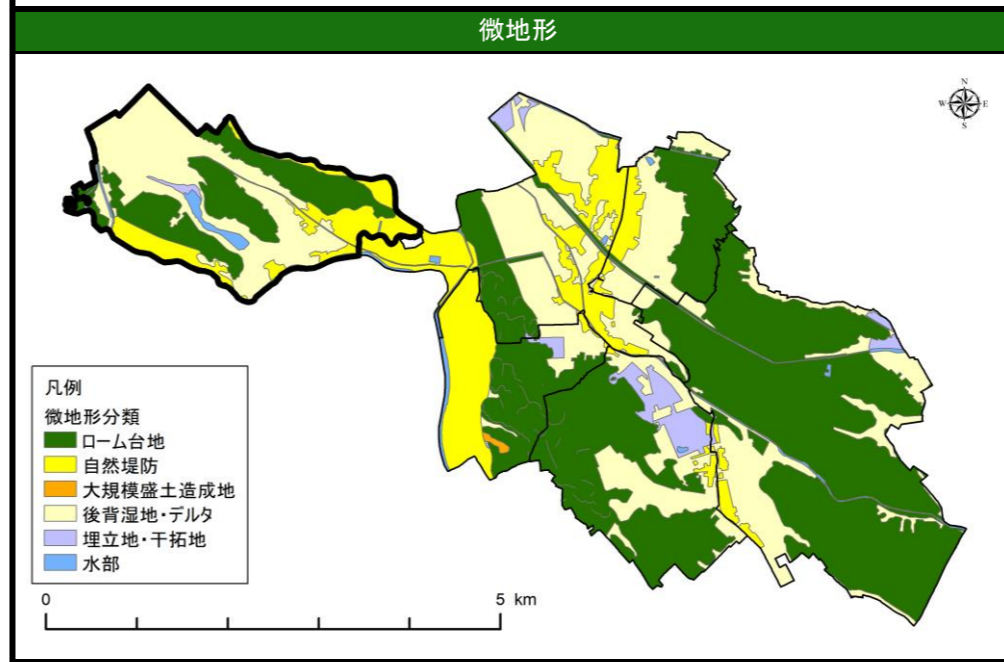
【人口】
1,400人で、市全体人口の2.65%である。
人口密度は約298人/km²である

【建物】
1,471棟で市全体建物棟数の約6.69%である。
旧耐震にあたる昭和55年以前に建設された建物の割合は、木造が9.77%、非木造が10.67%である。
新耐震にあたる昭和55年以降に建設された建物の割合は、木造が4.34%、非木造が11.71%である。
建物密集度は約313棟/km²である。

【防災施設】
指定避難所は、大山小学校が指定されている。



		小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)	
面積		4.70 km ²	24.92 km ²	18.85%	
人口・家屋の分布状況	人口	1,400 人	52,769 人	2.65%	
	人口密度	298.01 人/km ²	2,117.54 人/km ²	—	
	男女別人口	男	693 人	26,197 人	2.65%
		女	707 人	26,572 人	2.66%
	世帯数	597 世帯	22,724 世帯	2.63%	
	建物棟数	1,471 棟	21,993 棟	6.69%	
	建物分布状況	木造(S55以前)	395 棟	4,042 棟	9.77%
	木造(S56以降)	600 棟	13,832 棟	4.34%	
	非木造(S55以前)	65 棟	608 棟	10.67%	
	非木造(S56以降)	411 棟	3,511 棟	11.71%	
	密集度	313.12 棟/km ²	882.54 棟/km ²	—	



避難施設	施設名称	所在地	指定緊急避難場所	指定避難所
		大山小学校	荒井新田339	○

防災関連施設	市役所・警察・消防		要配慮者利用施設		
	施設名称	所在地	種類	地区内	市全域
			高齢者施設	1	18
			児童福祉施設	0	19
			障がい児・者施設	3	13
			医療施設	0	27
		学校	1	13	

地区の災害特性	防災対策の方向性
<p>風水害</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中川流域は、想定浸水深0.5m以上～3.0m未満が多くを占めているが、地区の北東及び西側で浸水しないと想定される地域もある。河川・水路沿いは家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)となっている。 ● 利根川・小山川は、想定浸水深0.5m以上～3.0m未満が多くを占め、地区中央部の北西から南東にかけて3.0m以上～5.0m未満の想定浸水深となる。 ● 荒川は、浸水範囲は利根川・小山川とほぼ同じであるが、想定浸水深3.0m以上～5.0m未満の範囲が広がる。 	<p>風水害</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 複数の河川や水路が存在します。ハザードマップを参考にし、避難所への安全な避難ルートを確認しましょう。 ● 安心安全メールやホームページなど、市が発信する最新の避難情報を入力しましょう。 ● 自主防災組織の設立や近隣の声掛けなど、地域の防災対策に取り組み、早めの避難行動をとりましょう。 ● すでに浸水が始まっている場合は、無理に避難をせず、自宅の高い階へ避難しましょう。
<p>地震被害</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 関東平野北西縁断層帯地震では地区西側と南側一部が震度6強、それ以外は震度6弱である。液状化危険度は水路沿いを中心に5<PL≤15でやや高い。 ● 茨城・埼玉県境地震では地区の7割近くが震度6強、それ以外は震度6弱である。液状化危険度は水路沿いを中心に15<PLと極めて高い。 ● 関東平野北西縁断層帯地震による全壊率は、柴山湖周辺及び西側に5～10%以上が点在する。 ● 茨城・埼玉県境地震では、地区中央部付近から西側で全壊率が高くなる。 	<p>地震被害</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ハザードマップを参考にし、家具の固定や飛散防止フィルムを窓ガラスに貼る等対策をしましょう。 ● 地震時、家具が転倒する恐れがあります。寝室には高さのある家具の設置は控えましょう。 ● 地震の際は、落下物から身を守りましょう。 ● 耐震改修に係る市の補助制度を活用するなど建物の耐震化を行いましょう。

白岡市 地区別防災カルテ

<結果>

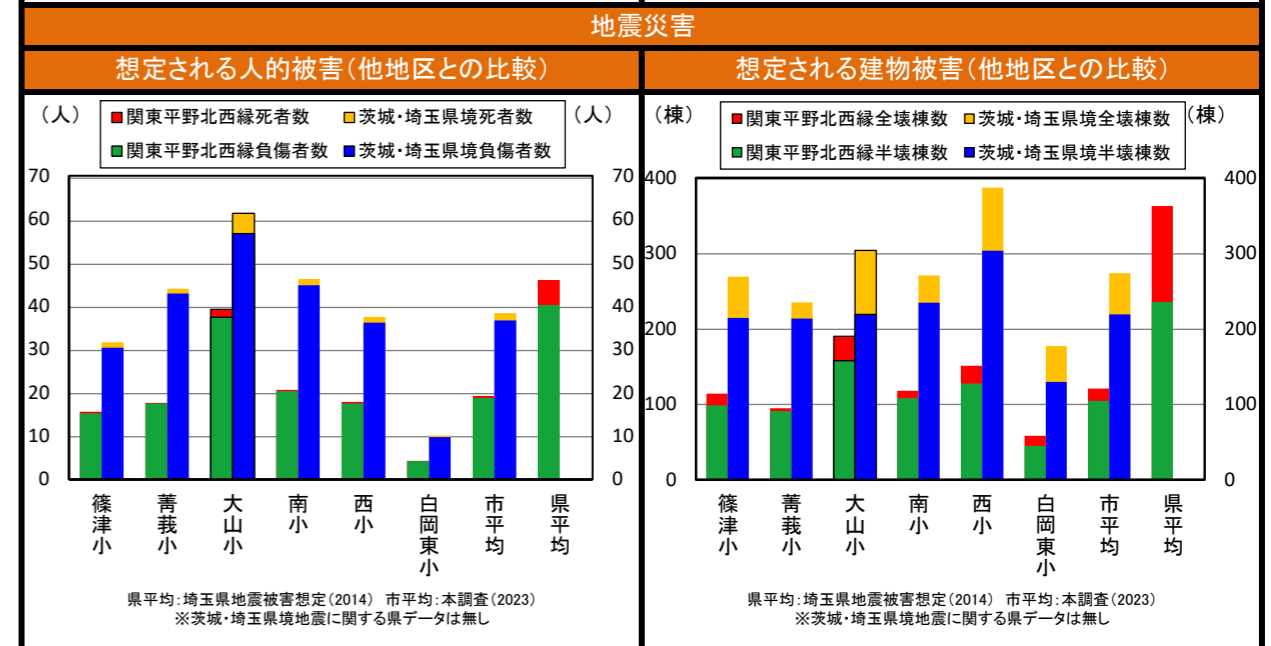
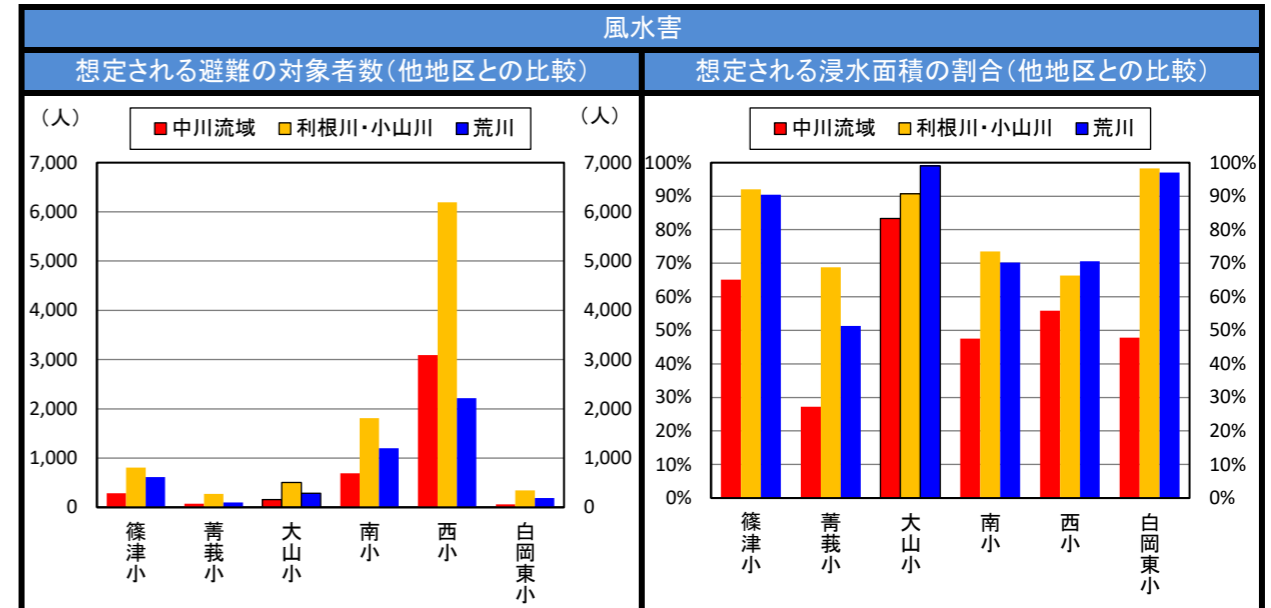
3 大山小学校区

風水害									
浸水想定被害結果		避難の対象者数(人)		浸水する住宅数(棟)		浸水面積(km ²)		収容人数過不足(人)	
		小学校区(a)	市全体合計(b)	小学校区(a)	市全体合計(b)	小学校区(a)	市全体合計(b)	収容人数	過不足
		中川流域浸水想定区域	156	4,363	45	1,390	3.91	12.87	171
利根川・小山川浸水想定区域	505	9,934	139	3,044	4.26	19.87	22	-483	
荒川浸水想定区域	283	4,602	78	1,398	4.65	18.76	154	-129	

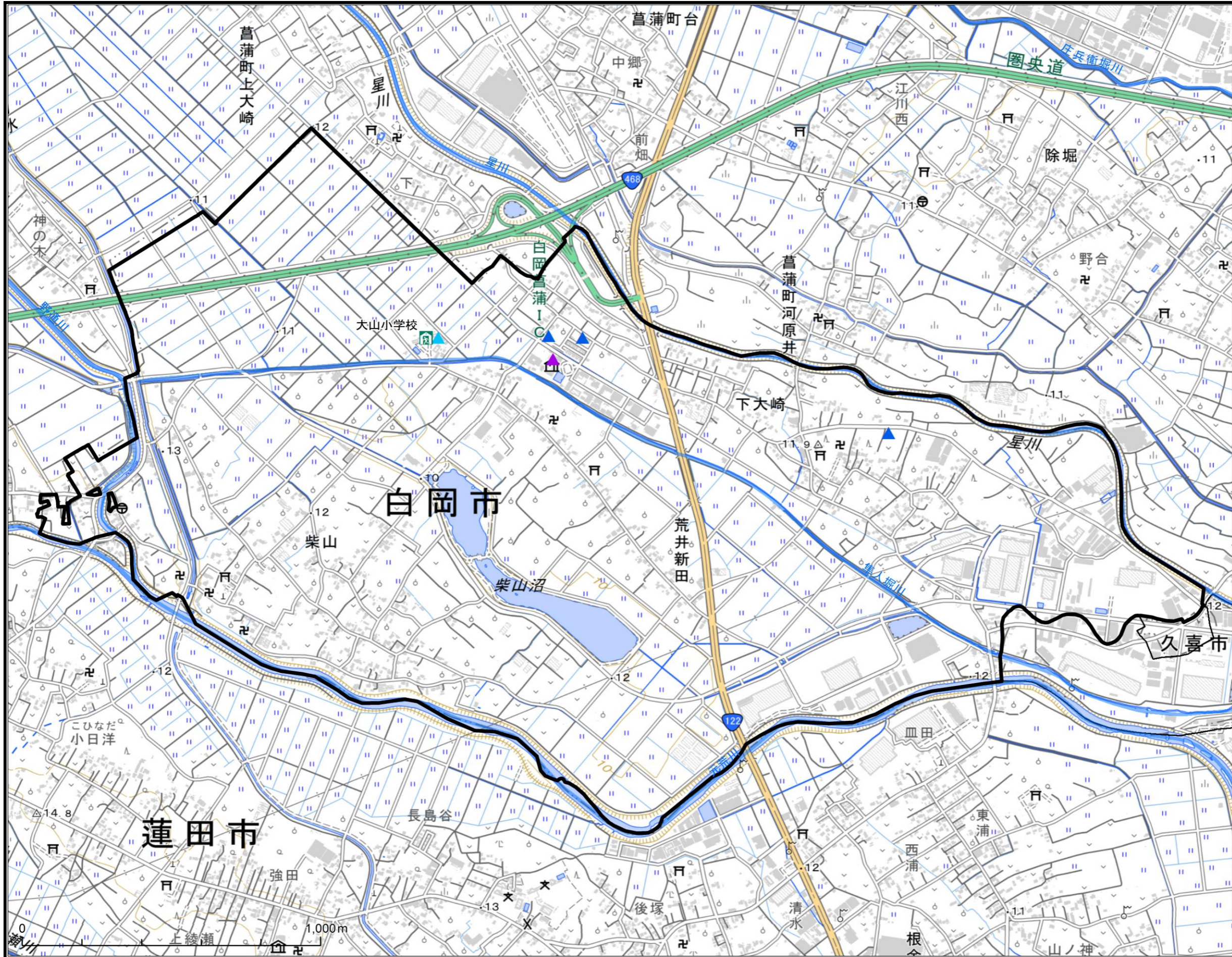
地震災害										
関東平野北西縁断層帯地震 被害想定結果		震度					液状化危険度			
		最大震度		6.02			最大PL値		14.04	
		5弱以下	5強	6弱	6強	7	PL=0	0<PL≤5	5<PL≤15	15<PL
面積(km ²)	0.04	0.00	3.80	0.86	0.00	1.64	0.00	3.06	0.00	
面積率(%)	0.81	0.00	80.91	18.28	0.00	34.88	0.00	65.12	0.00	
人的被害(人)					建物被害(棟)					
	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)			小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)		
死者数	2	3	58.55%		木造 全壊	30	89	33.58%		
負傷者数	37	113	32.99%		木造 半壊	147	588	25.01%		
重傷者数	3	6	58.98%		非木造 全壊	3	10	26.32%		
避難者数	49	380	12.91%		非木造 半壊	11	41	25.53%		
避難所避難者数	29	228	12.91%		火災 出火	0.07	0.26	-		
収容人数	245	収容人数過不足	216		火災 焼失	0.13	0.44	29.04%		
上水道断水人口(人)					下水道支障人口(人)					
断水人口	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)		支障人口	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)		
	1,016	24,720	4.11%			0	12,080	0.00%		

茨城・埼玉県境地震 被害想定結果										
		震度					液状化危険度			
		最大震度		6.2			最大PL値		19.9	
		5弱	5強	6弱	6強	7	PL=0	0<PL≤5	5<PL≤15	15<PL
面積(km ²)	0.04	0.00	0.81	3.85	0.00	1.64	0.00	0.00	3.06	
面積率(%)	0.81	0.00	17.22	81.97	0.00	34.88	0.00	0.00	65.12	
人的被害(人)					建物被害(棟)					
	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)			小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)		
死者数	5	10	46.43%		木造 全壊	78	301	26.03%		
負傷者数	57	222	25.50%		木造 半壊	200	1,234	16.18%		
重傷者数	9	18	48.45%		非木造 全壊	6	27	23.26%		
避難者数	106	1,144	9.23%		非木造 半壊	19	83	22.87%		
避難所避難者数	63	687	9.23%		火災 出火	0.19	0.79	-		
収容人数	245	収容人数過不足	147		火災 焼失	0.80	10.12	7.93%		
上水道断水人口(人)					下水道支障人口(人)					
断水人口	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)		支障人口	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)		
	1,231	36,943	3.33%			0	12,232	0.00%		

注 地震被害想定結果の建物被害、ライフライン被害は、冬18時強風時、死傷者数は冬深夜強風時の結果
 避難所避難者数、上水道断水人口、下水道支障人口は、地震発生直後の結果
 表中の(a)及び(b)の数字は、小数点以下を四捨五入しているため、割合(a/b)の数字と合わない場合もある



災害の種類	災害の評価(%)	数値	順位	評価指標	
風水害	浸水(洪水)	洪水の影響を受ける避難人口率 避難の対象者数(人)/地区の総人口(人)	63.9	5	<p>六角形グラフは、浸水(洪水)、避難者、地盤被害、建物被害、火災被害、人的被害の6つの評価指標を軸として描かれています。各軸の値は0から10まであり、グラフの多角形面積が広いほど、地域が総合的に「災害に強い」と示されます。白岡市の評価は、浸水(洪水)が最も高く、避難者、地盤被害、建物被害、火災被害は中程度、人的被害は低いという結果を示しています。</p>
	地盤被害	液状化の被害面積率 危険度15<PL(m ²)/地区全体面積(m ²)	34.9	5	
地震被害	建物被害	地震による建物被害率 全壊棟数(棟)/地区全体建物数(棟)	94.2	6	
	火災被害	火災による建物被害率 焼失棟数(棟)/地区全体建物数(棟)	99.9	3	
	人的被害	地震災害による死傷人口率 死傷者数(人)/地区全体人口(人)	95.6	6	
	避難者	地震災害による避難人口率 避難所避難者数(人)/地区全体人口(人)	95.5	6	

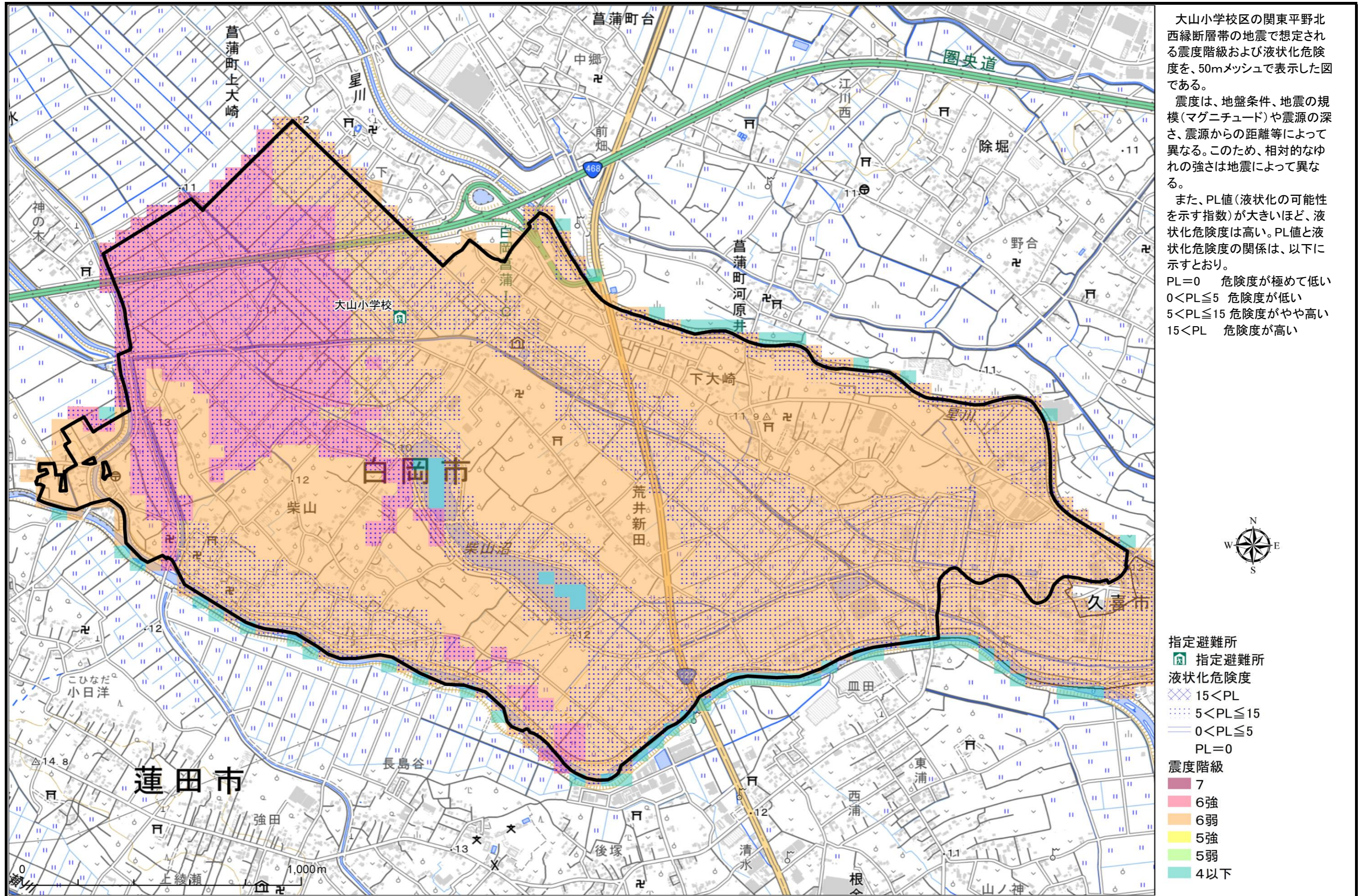


大山小学校区及びその周辺の定避難所、指定緊急避難場所、公共施設、要配慮者利用施設を表示した図である。



- 市役所
- 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 消防署
- 警察(駐在所・交番)
- ▲ 要配慮者施設_高齢者施設
- ▲ 要配慮者施設_児童福祉施設
- ▲ 要配慮者施設_障がい児・者施設
- ▲ 要配慮者施設_医療施設
- ▲ 要配慮者施設_学校

※背景図は地理院タイル(淡色地図)、鉄道、道路、駅は国土数値情報(国土交通省)を使用



大山小学校区の関東平野北西縁断層帯の地震で想定される震度階級および液状化危険度を、50mメッシュで表示した図である。

震度は、地盤条件、地震の規模(マグニチュード)や震源の深さ、震源からの距離等によって異なる。このため、相対的なゆれの強さは地震によって異なる。

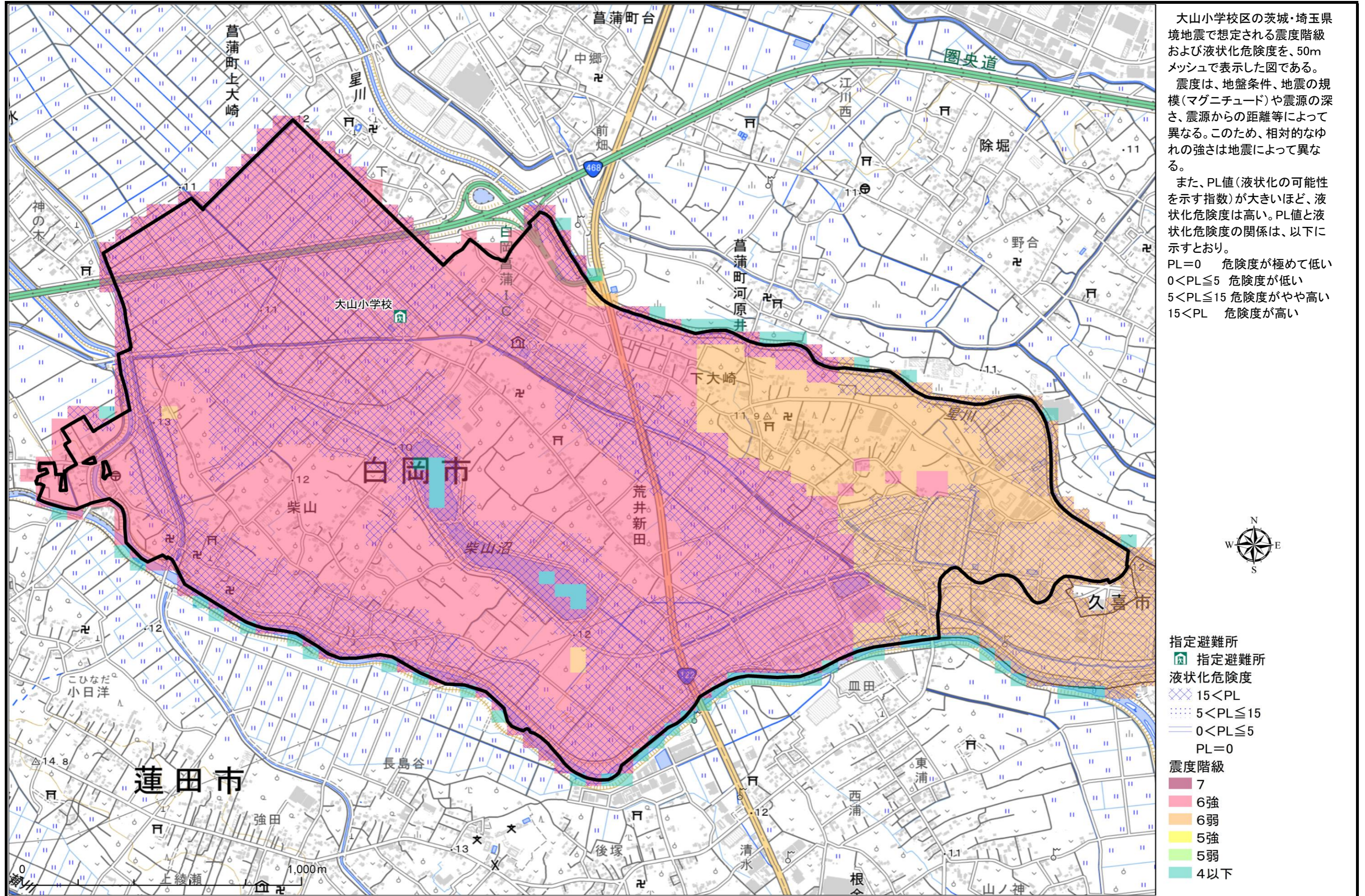
また、PL値(液状化の可能性を示す指数)が大きいほど、液状化危険度は高い。PL値と液状化危険度の関係は、以下に示すとおり。

PL=0 危険度が極めて低い
 0 < PL ≤ 5 危険度が低い
 5 < PL ≤ 15 危険度がやや高い
 15 < PL 危険度が高い



- 指定避難所
- 指定避難所
- 液状化危険度
- 15 < PL
- 5 < PL ≤ 15
- 0 < PL ≤ 5
- PL = 0
- 震度階級
- 7
- 6強
- 6弱
- 5強
- 5弱
- 4以下

※背景図は地理院タイル(淡色地図)、鉄道、道路、駅は国土数値情報(国土交通省)を使用

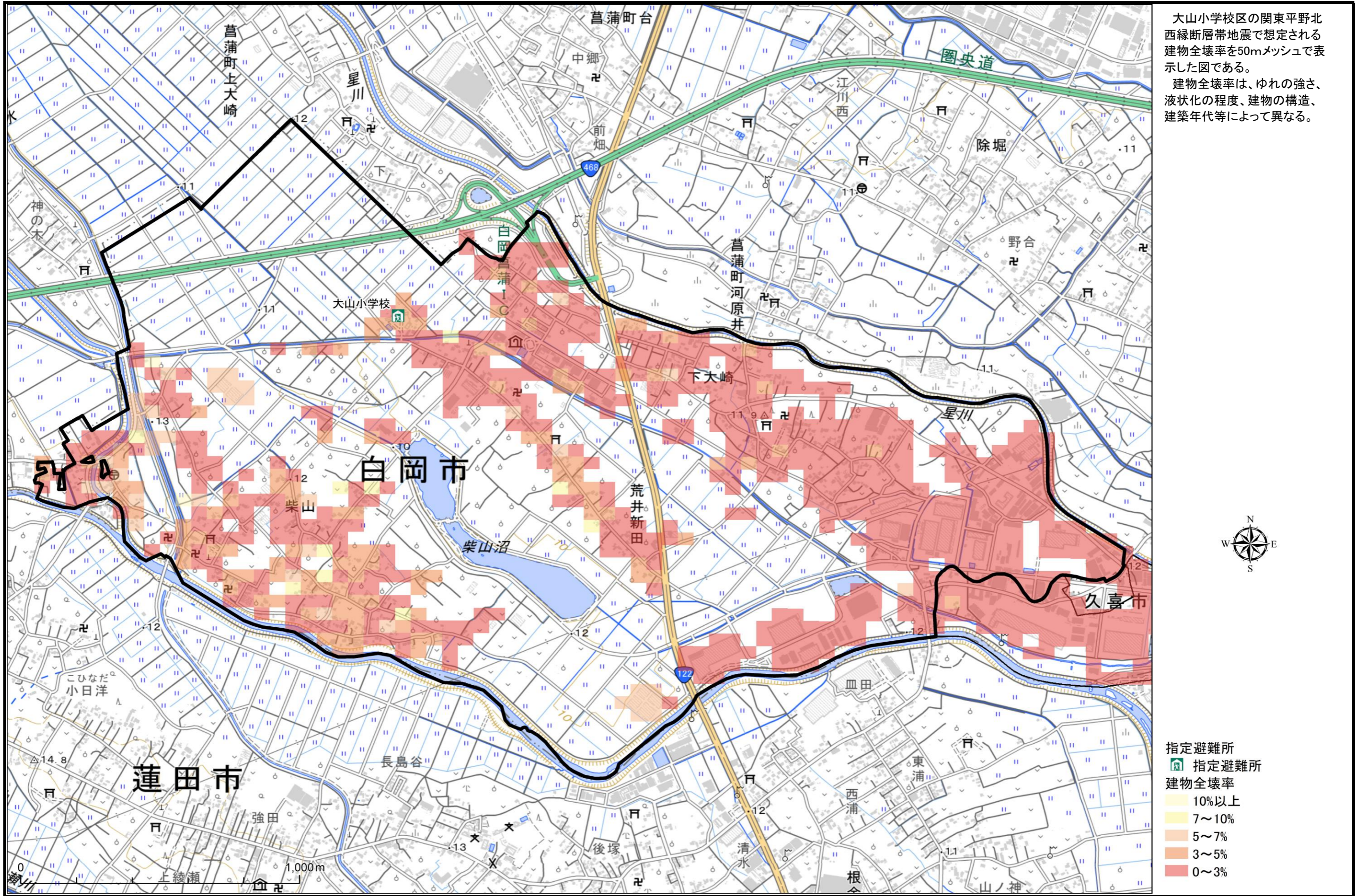


※背景図は地理院タイル(淡色地図)、鉄道、道路、駅は国土数値情報(国土交通省)を使用

白岡市 地区別防災カルテ

<地震 想定される建物全壊率分布図 関東平野北西縁断層帯地震>

3 大山小学校区

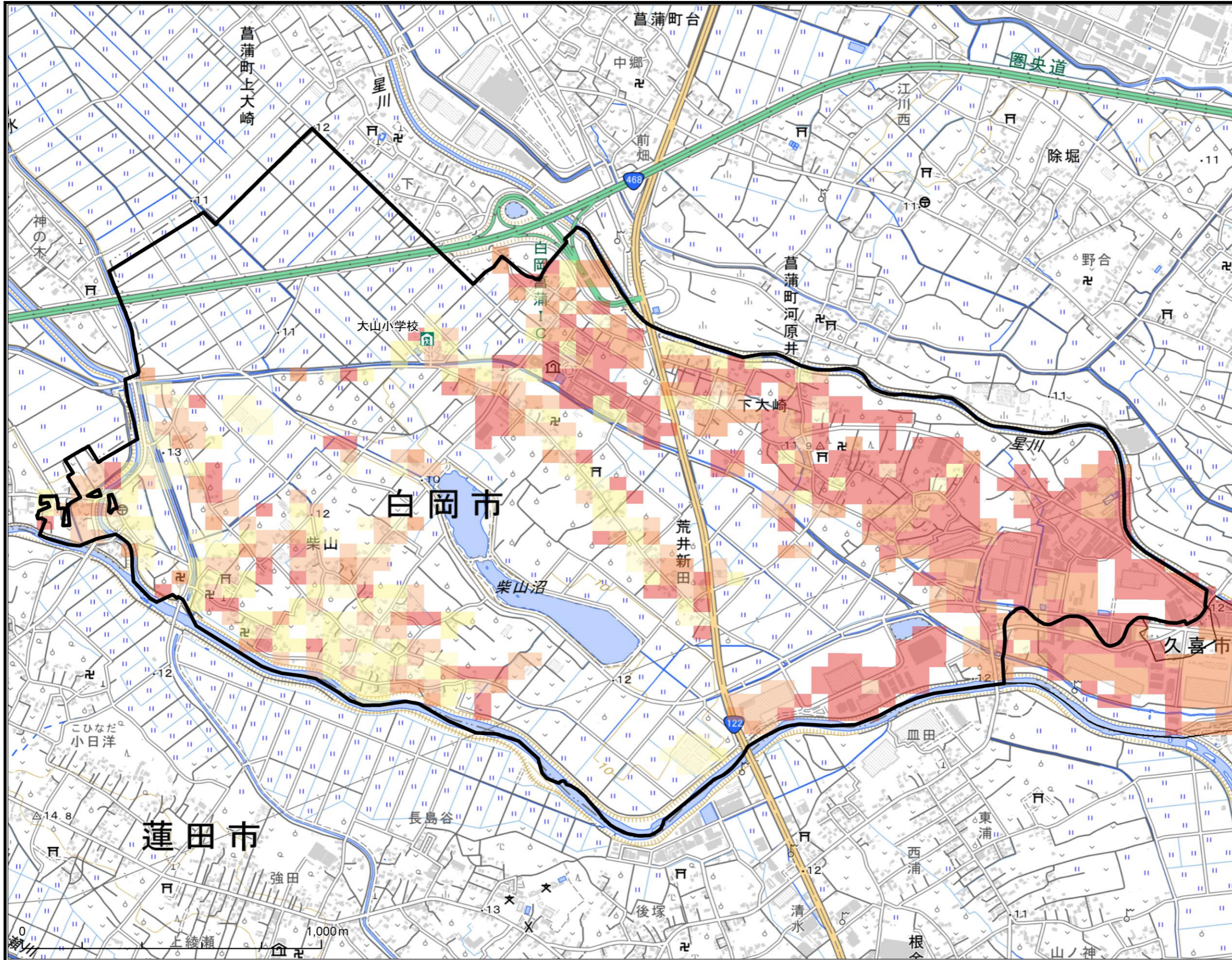


※背景図は地理院タイル(淡色地図)、鉄道、道路、駅は国土数値情報(国土交通省)を使用

白岡市 地区別防災カルテ

<地震 想定される建物全壊率分布図 茨城・埼玉県境地震>

3 大山小学校区

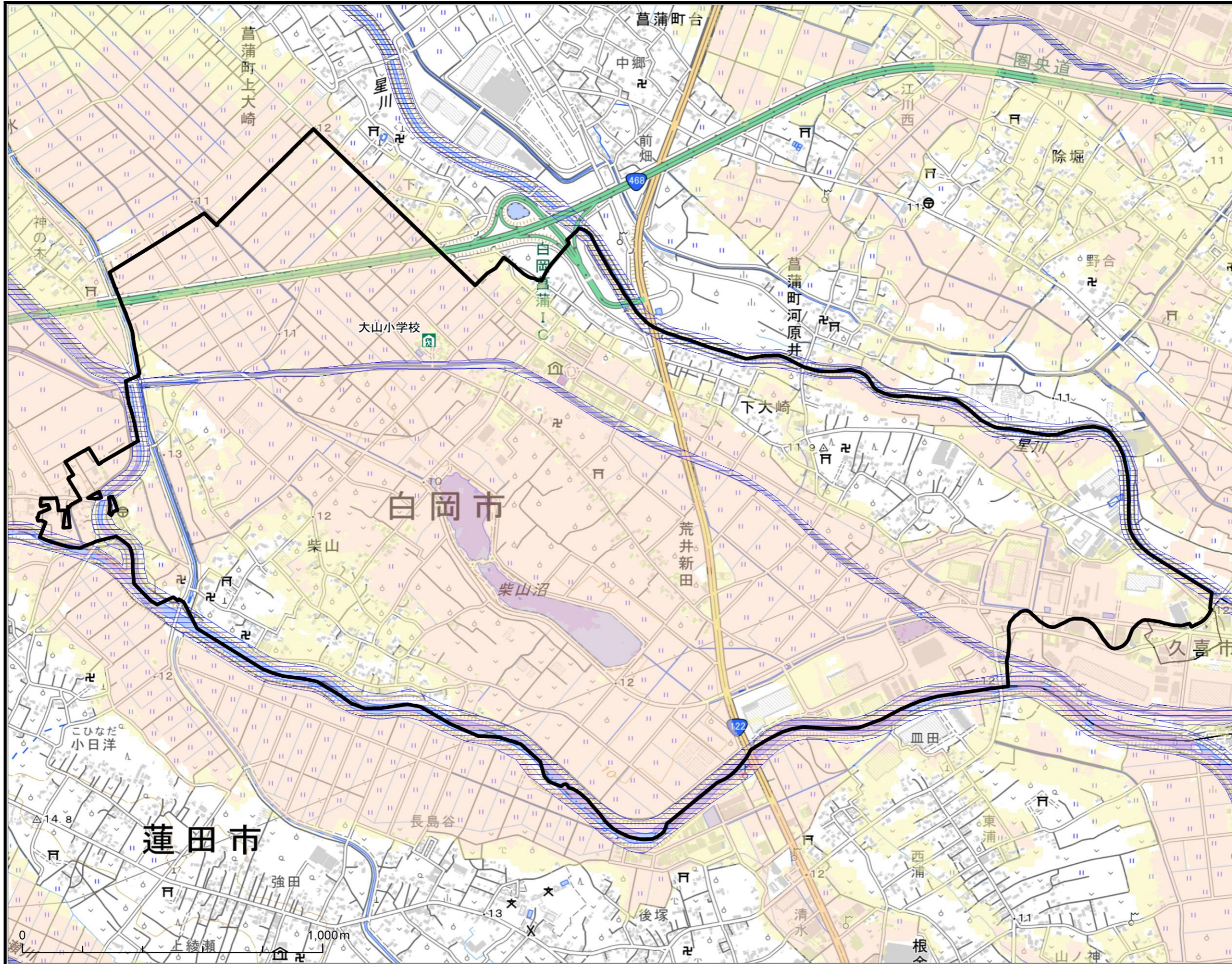


大山小学校区の茨城・埼玉
県境地震で想定される建物全
壊率を50mメッシュで表示した
図である。
建物全壊率は、ゆれの強さ、
液状化の程度、建物の構造、
建築年代等によって異なる。



- 指定避難所
指定避難所
建物全壊率
- 10%以上
 - 7~10%
 - 5~7%
 - 3~5%
 - 0~3%

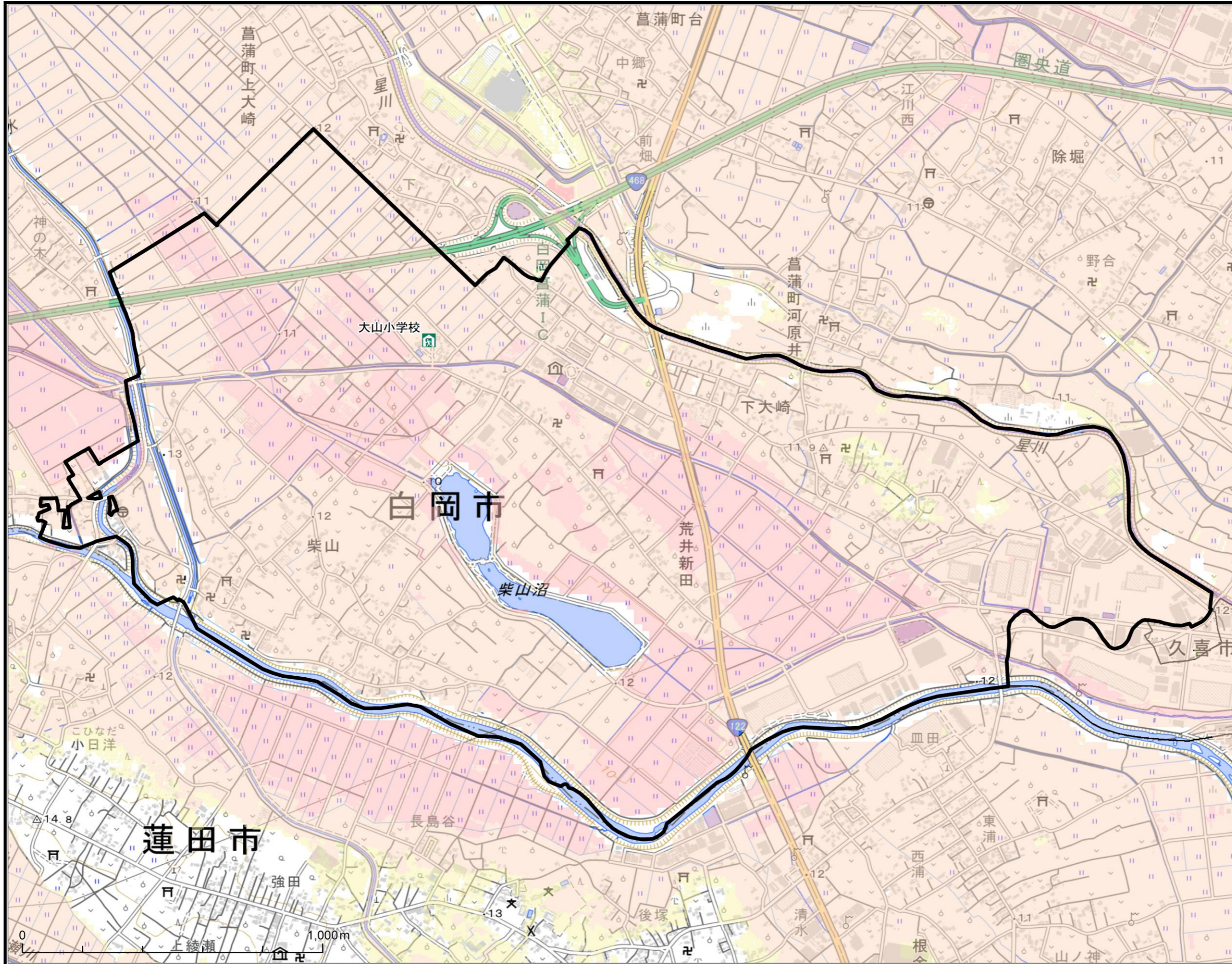
※背景図は地理院タイル(淡色地図)、鉄道、道路、駅は国土数値情報(国土交通省)を使用



大山小学校区の中川流域の浸水想定区域を示した図である。
 浸水想定区域は、浸水被害想定調査で対象とした河川のうち、中川流域の浸水想定区域を浸水深別(0.5m未満、0.5～3.0m未満、3.0～5.0m未満、5.0～10.0m未満、10.0～20.0m未満)に表示した。
 ※浸水想定区域図とは、水防法により河川管理者が、降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を示したものである。
 ※家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)とは、河川の流れにより河岸が削られ土地が流出するおそれがある区域である。
 ※本図では、柴山沼に浸水深が反映されているが、ハザードマップでは、調整池・沼として表記しているため、浸水深は反映されていない。

- 指定避難所
 指定避難所
 家屋倒壊等氾濫想定区域
 河岸侵食
 想定最大規模
 浸水深ランク
- 10.0m以上20.0m未満
 - 5.0m以上10.0m未満
 - 3.0m以上5.0m未満
 - 0.5m以上3.0m未満
 - 0.5m未満

※背景図は地理院タイル(淡色地図)、鉄道、道路、駅は国土数値情報(国土交通省)を使用

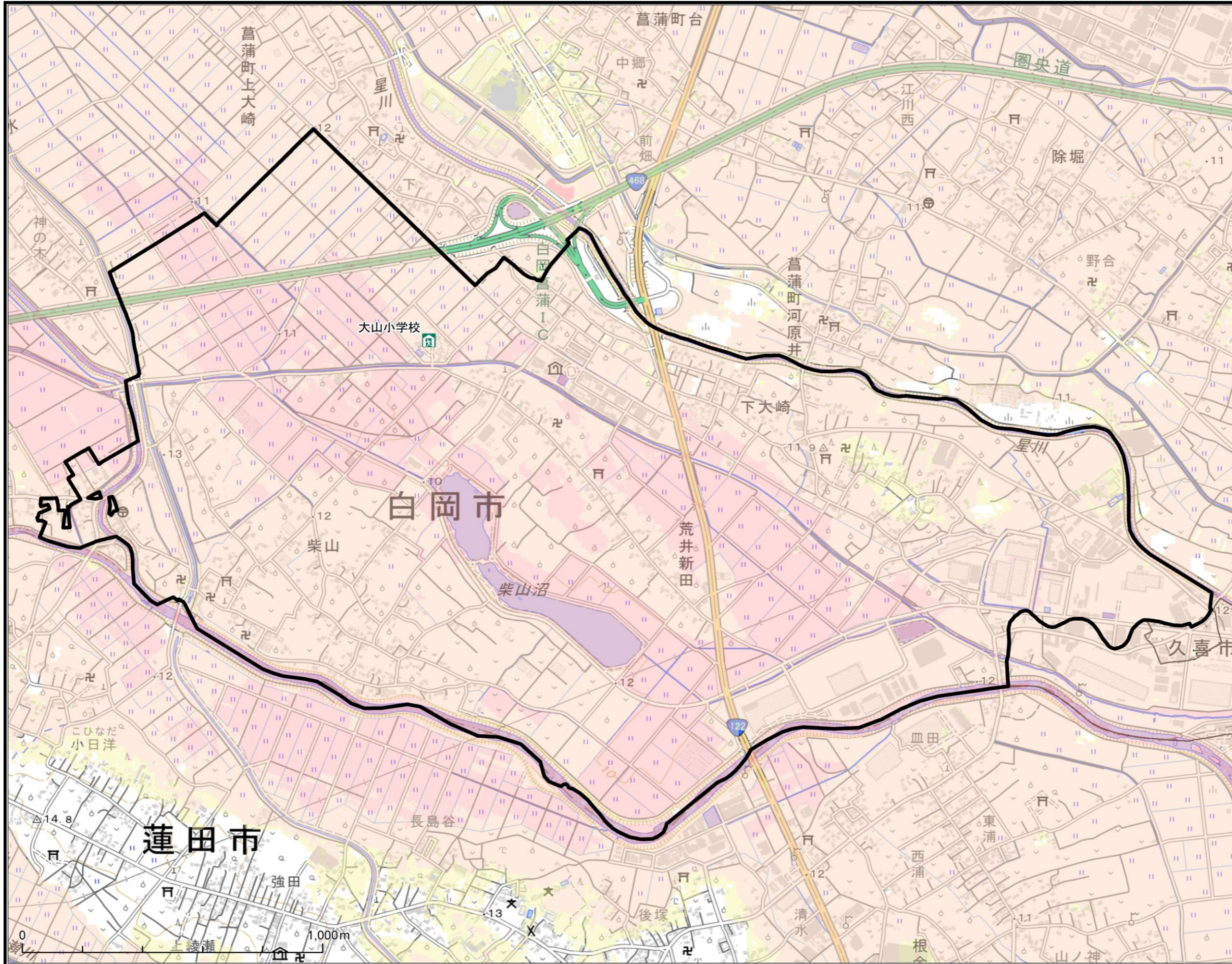


大山小学校区の利根川・小山川の浸水想定区域を示した図である。
 浸水想定区域は、浸水被害想定調査で対象とした河川のうち、利根川・小山川の浸水想定区域を浸水深別(0.5m未満、0.5～3.0m未満、3.0～5.0m未満、5.0～10.0m未満、10.0～20.0m未満)に表示した。
 ※浸水想定区域図とは、水防法により河川管理者が、降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を示したものである。



- 指定避難所
 指定避難所
 想定最大規模
 浸水深ランク
- 10.0m以上20.0m未満
 - 5.0m以上10.0m未満
 - 3.0m以上5.0m未満
 - 0.5m以上3.0m未満
 - 0.5m未満

※背景図は地理院タイル(淡色地図)、鉄道、道路、駅は国土数値情報(国土交通省)を使用



大山小学校区の荒川の浸水想定区域を示した図である。
 浸水想定区域は、浸水被害想定調査で対象とした河川のうち、荒川の浸水想定区域を浸水深別(0.5m未満、0.5～3.0m未満、3.0～5.0m未満、5.0～10.0m未満、10.0～20.0m未満)に表示した。
 ※浸水想定区域図とは、水防法により河川管理者が、降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を示したものである。
 ※本図では、柴山沼に浸水深が反映されているが、ハザードマップでは、調整池・沼として表記しているため、浸水深は反映されていない。



- 指定避難所
 指定避難所
 想定最大規模
 浸水深ランク
- 10.0m以上20.0m未満
 - 5.0m以上10.0m未満
 - 3.0m以上5.0m未満
 - 0.5m以上3.0m未満
 - 0.5m未満

※背景図は地理院タイル(淡色地図)、鉄道、道路、駅は国土数値情報(国土交通省)を使用